



## 平成24年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社TASAKI

コード番号 7968 URL <http://www.tasaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役・代表執行役社長 (氏名) 田島 寿一

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務部IR担当マネージャー (氏名) 田中 雅彦

TEL 080-2461-3910

四半期報告書提出予定日 平成24年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年10月期第3四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第3四半期	11,492	1.5	△493	—	△605	—	△647	—
23年10月期第3四半期	11,326	△6.4	△693	—	△867	—	△902	—

(注) 包括利益 24年10月期第3四半期 △607百万円 (—%) 23年10月期第3四半期 △915百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第3四半期	△36.78	—
23年10月期第3四半期	△51.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第3四半期	17,546	10,770	61.0
23年10月期	18,317	11,314	61.8

(参考) 自己資本 24年10月期第3四半期 10,707百万円 23年10月期 11,314百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年10月期	—	0.00	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	11.9	△900	—	△1,100	—	△1,200	—	△68.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期3Q	3,780,566 株	23年10月期	3,780,566 株
② 期末自己株式数	24年10月期3Q	182,431 株	23年10月期	181,869 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期3Q	3,598,481 株	23年10月期3Q	3,598,899 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2.平成24年5月1日付で株式併合(10株を1株)をしておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、以下の開示項目を算定又は記載しております。

・1.平成24年10月期第3四半期の連結業績(1)連結経営成績(累計)「1株当たり四半期純利益」

・3.平成24年10月期の連結業績予想「1株当たり当期純利益」

・注記事項(4)発行済株式数(普通株式)「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期末自己株式数」「期中平均株式数(四半期累計)」

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機などを背景とした海外経済の減速や長期化する円高と株価低迷の影響から、引き続き厳しい状況のまま推移いたしました。

宝飾業界におきましては、景気の先行き不透明感からの消費の低迷と顧客嗜好の多様化、また業界内の競争激化等により、環境は厳しい状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループは従来より重点的に進めてきましたブランド戦略が確実に成果を現してきており、国内においては、TASAKIブランドの商品の先端性が認められ、バーニーズニューヨーク銀座店、ドーバーストリートマーケットなどの主要セレクトショップでの取り扱いが開始されております。加えて、東京、神戸、博多、札幌における有力百貨店においての出店はもとより、ポップアップ店舗も順次企画しており、百貨店出店を一層加速させてまいります。一方、海外においては、この6月に中国北京に北京国貿旗艦店をオープンするなど引き続き中国市場でのブランド認知向上と売上増を図って行く所存です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は114億92百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業損益は4億93百万円の損失（前年同四半期は6億93百万円の損失）、経常損益は6億5百万円の損失（前年同四半期は8億67百万円の損失）、また四半期純損益は6億47百万円の損失（前年同四半期は9億2百万円の損失）となりました。また、EBITDA（※）は、前々年同四半期（△9億63百万円）、前年同四半期（△2億51百万円）から損失は減少し、△58百万円となりました。

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋その他償却費＋現金流出を伴わない費用

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

## 小売事業

小売事業につきましては、ブランド戦略が効果を現し百貨店売上が増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は86億36百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント損失は8億59百万円（前年同四半期は11億10百万円の損失）となりました。

## 卸売事業

卸売事業につきましては、主にダイヤモンドの素材販売が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は28億56百万円（前年同四半期比12.9%減）、セグメント利益は3億60百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億70百万円減少し175億46百万円となりました。なかでも、主に流動資産においてはたな卸資産が3億43百万円減少し、固定資産においては敷金及び保証金が1億95百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ2億26百万円減少し67億76百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億15百万円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加1億1百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ5億44百万円減少し107億70百万円となりました。これは、主に当第3四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少6億47百万円によるものであります。なお、平成24年1月27日開催の定時株主総会の決議に基づき平成24年3月1日付で減資を実施したことにより、資本金が74億円減少し、資本剰余金が28億20百万円及び利益剰余金が45億79百万円各々増加しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成23年12月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当第3四半期連結会計期間において株式併合を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

## (4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度で7期連続の当期純損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても四半期純損失を計上することとなり、継続企業の前提に関する重要事象は生じておりますが、当該状況を解消すべく、財務面とブランド力の強化に注力しております。

財務面におきましては、取引金融機関よりブランド再構築途上の当社事業改革への理解を踏まえた支援を得ており、付与されている財務制限条項の抵触は回避できております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日後翌1年間において事業継続のために必要な資金は十分に確保しております。

また、前述の、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 連結経営成績に関する定性的情報」の記載にありますように、ブランドの刷新・価値向上を強力に進めており、その成果が現れております。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと考えております。

当社グループは、これらを遂行することにより、早期の業績回復と企業価値の増大を目指しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,854,637	2,119,925
受取手形及び売掛金	705,139	496,709
たな卸資産	9,940,874	9,597,624
繰延税金資産	2,269	—
その他	1,075,385	992,840
貸倒引当金	△13,856	△8,539
流動資産合計	13,564,450	13,198,560
固定資産		
有形固定資産	2,923,089	2,741,938
無形固定資産	129,431	116,812
投資その他の資産	1,700,625	1,489,399
固定資産合計	4,753,146	4,348,150
資産合計	18,317,596	17,546,711
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	391,423	493,160
1年内返済予定の長期借入金	215,574	215,574
未払法人税等	67,103	33,007
賞与引当金	46,691	4,414
資産除去債務	3,166	9,522
その他	656,780	584,396
流動負債合計	1,380,738	1,340,075
固定負債		
長期借入金	2,254,508	2,038,934
繰延税金負債	56,987	46,775
再評価に係る繰延税金負債	63,637	56,505
退職給付引当金	3,028,021	3,090,711
資産除去債務	168,133	165,769
その他	50,972	37,677
固定負債合計	5,622,261	5,436,375
負債合計	7,003,000	6,776,450
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,500,000	100,000
資本剰余金	8,809,343	11,629,566
利益剰余金	△3,885,473	47,049
自己株式	△792,264	△792,491
株主資本合計	11,631,604	10,984,124
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	82,747	89,879
為替換算調整勘定	△399,755	△366,665
その他の包括利益累計額合計	△317,008	△276,785
新株予約権	—	62,921
純資産合計	11,314,596	10,770,260
負債純資産合計	18,317,596	17,546,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
売上高	11,326,883	11,492,931
売上原価	4,974,399	4,840,503
売上総利益	6,352,483	6,652,427
販売費及び一般管理費	7,045,576	7,145,536
営業損失(△)	△693,093	△493,108
営業外収益		
受取利息	4,696	2,280
為替差益	3,717	—
工事負担金等受入額	13,294	13,294
雑収入	26,282	21,512
営業外収益合計	47,989	37,087
営業外費用		
支払利息	99,795	127,076
借入手数料	77,336	—
為替差損	—	12,654
雑損失	45,108	9,716
営業外費用合計	222,240	149,447
経常損失(△)	△867,345	△605,469
特別利益		
固定資産売却益	8,140	1,393
貸倒引当金戻入額	3,379	—
新株予約権戻入益	120,391	—
特別利益合計	131,911	1,393
特別損失		
固定資産除売却損	5,790	1,823
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	88,223	—
減損損失	—	8,781
その他	536	320
特別損失合計	94,551	10,926
税金等調整前四半期純損失(△)	△829,984	△615,002
法人税、住民税及び事業税	46,077	39,921
法人税等調整額	26,299	△7,670
法人税等合計	72,377	32,251
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△902,361	△647,253
四半期純損失(△)	△902,361	△647,253

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△902,361	△647,253
その他の包括利益		
土地再評価差額金	—	7,131
為替換算調整勘定	△13,603	33,090
その他の包括利益合計	△13,603	40,222
四半期包括利益	△915,965	△607,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△915,965	△607,031
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,046,633	3,280,249	11,326,883	—	11,326,883
セグメント間の内部売上高 又は振替高	162,325	203,634	365,959	△365,959	—
計	8,208,959	3,483,883	11,692,842	△365,959	11,326,883
セグメント利益又は損失(△)	△1,110,609	405,473	△705,135	12,042	△693,093

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額12,042千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,636,895	2,856,035	11,492,931	—	11,492,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180,254	212,492	392,746	△392,746	—
計	8,817,149	3,068,527	11,885,677	△392,746	11,492,931
セグメント利益又は損失(△)	△859,564	360,424	△499,139	6,030	△493,108

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額6,030千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年3月1日付で、資本金の額の減少及び剰余金の処分を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が7,400,000千円減少し、第3四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円となっております。資本金の減少により増加する資本剰余金のうち、4,579,776千円を利益剰余金に振替えることにより、欠損の填補を行い、資本剰余金は11,629,566千円となり、利益剰余金は47,049千円となっております。